

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第32号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年10月29日 05時30分ごろ	
発生場所	福岡県苅田町苅田港東方沖 苅田港北防波堤灯台から真方位089° 2.2海里付近 (概位 北緯33° 48.0′ 東経131° 3.3′)	
事故等調査の経過	平成22年2月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 豊<sup>ほう</sup>洋丸、2,715トン 130258、三洋海運株式会社</p> <p>B 漁船 小<sup>こ</sup>西丸、4.4トン FO3-30869（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 三等航海士、四級海技士（航海）</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 左舷船尾部外板擦過傷</p> <p>B 船首上部圧損</p>	
事故等の経過	A船は、船長Aほか9人が乗り組み、三等航海士A及び甲板手が守錨当直し、錨泊を示す灯火を表示して錨泊中、B船は、船長Bが無灯火のまま、約5ノットの速力で、手動操舵により北東進中、連日の操業のため居眠りに陥り、平成21年10月29日05時30分ごろ、苅田港東方沖において、A船の左舷船尾部とB船の船首上部が衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：うねり なし、波高 穏やか 日出時刻：06時32分ごろ</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり Bあり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、苅田港東方沖において錨泊中、多数の灯火を表示していたから、他船が避航してくれるものと思い込み、三等航海士Aが、レーダーをスタンバイ状態にして周囲の適切な見張りを行わなかったため、B船に気付かなかった可能性があると考えられる。</p> <p>B船は、北東進中、操船中の船長Bが、すぐに明るくなるから法定灯火を表示しなくても安全に航行できると思っていたため、灯火を表示しなかったものと考えられる。また、船長Bは、連日の操業には慣れていたので、居眠りに陥ることはないと思っていたが操業疲れから居眠りに陥って、</p>

	A 船に気付かなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、苅田港東方沖において、A 船が錨泊中、B 船が北東進中、三等航海士 A が、レーダーをスタンバイ状態にするとともに、B 船が法定灯火を表示していなかったことから、B 船に気付かず、また、操船中の船長 B が、居眠りに陥ったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。